

「物づくりと品質管理」

テキスタイル塾講師

仕上げ加工担当 伊藤武司

尾州テキスタイルデザイナー協会の「人材養成テキスタイル塾」の第1期、第2期共に講師として担当させて頂き誠に光栄に思います。今回の第2期生は21社、21名です。2名の女性を交えて、仕事を終えてからの18時30分から21時まで、有意義のある勉強をしっかりとしています。

塾生の前向きでやる気のある態度、習得したいと思う目の輝き、講師との出会い、生徒同志の出会い、語り、友情等いろいろなドラマが出来るでしょう。

原料、紡績、撚糸、企画設計、見本作り、マップ作り、染色整理、起毛加工、品質管理、検査基準など繊維に関する全般がわかります。絶対にこんな機会はありません。15年7月から16年2月迄カリキュラムが組まれています。講師も塾生と共に学習します。

専門知識習得の一例として以下の制度があります。

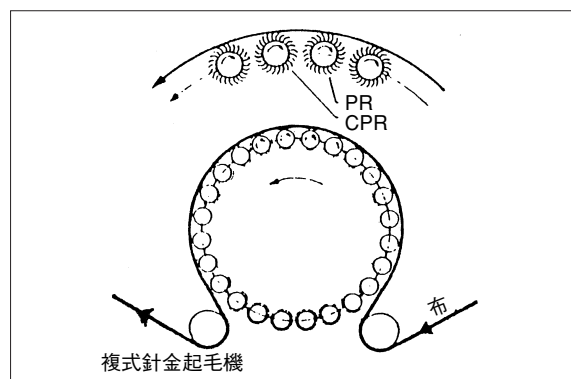
通商産業大臣認可、日本衣料管理協会の繊維製品品質管理の試験。毎年7月頃に行われ、範囲は①繊維製品の品質管理②繊維に関する一般知識③家庭用製品の製造と品質④流通、消費問題⑤事例問題です。

合格率は15～20%位です。受験生は紡績、織屋、染色整理、アパレル、問屋、縫製、クリーニング、流通、百貨店、専門学生などです。私は13年前に取得しています。高年齢になってからの試験で大変でした。6ヶ月間は学生になった様に、毎日10時に仕事を終えてから4～5時間勉強しました。今考えてみると若さと目的があったから出来た事と思います。現在、仕事の中で非常に役立つ知識を得ました。皆さんもチャレンジしてみてください。

私の勤務先の艶金興業(株)は創業115年の伝

統のある会社です。45年間、染色整理の技術開発、物作り、生産管理に携わってこられた事は誠に幸せ者です。会社、得意先、社員の皆さんに感謝しております。

現状は尾州産地の生産減少、中国の低コスト、低価格商品に押され、年々減産の傾向にあります。繊維製品を生産するに当たり、品質、コスト、納期厳守は当然ですが、生産工程に於ける環境問題や製品になってからの問題発生がない様に、また品質管理を十分にする必要があります。時代・消費者の変化を読むことが大切です。例えば「健康、癒し、感



動」などこれらに対する満足感のあるもの、つまり感動を与えられるところにお客様が集まります。物作りは「ハート」です。WOOLの本質を生かしたメンズの高級仕上げ、バイオテクノロジー、古き時代からの伝統技術プラス新しい起毛加工技術の融合、そして加工、S/S商品の綿、麻、レーヨンなど複合物の開発、他産地との共同商品、こうした感動を与えられる物作りは新しい商品開発の可能性を追求出来ると思います。

これからは益々染色整理加工が重要になります。提案型加工技術の出来る会社を目指します。そして後輩に技術の継承と尾州産地の発展を願望致します。